

公益社団法人日本リハビリテーション医学会

平成28年度 第2回理事会 議事録

日 時 平成28年6月8日(土) 10時00分～12時30分

場 所 国立京都国際会館 Room C-1

構成員 理事20名、監事3名

出席者 理事長 水間正澄

副理事長 安保雅博 才藤栄一 出江紳一

理 事 浅見豊子 石川 誠 近藤和泉 佐浦隆一

志波直人 島田洋一 久保俊一 上月正博

白倉賢二 菅本一臣 千田益生 帖佐悦男

椿原彰夫 道免和久 芳賀信彦 正門由久

監 事 朝貝芳美 木村彰男 田島文博

陪席者 事務局幹事 川手信行

専門医会幹事長 大串 幹

第53回学術集会幹事 池田 巧

第54回学術集会幹事 花山耕三

代議員総会議長候補 三上靖夫

代議員総会副議長候補 平岡 崇

名誉会員 江藤文夫 千野直一 村上恵一 米本恭三

議 題

I 報 告

(1) 業務執行理事会報告

水間理事長から業務執行に関する報告があった。

(2) 会員現況報告

水間理事長から会員現況の報告があった。

(3) 第53回学術集会準備状況について

久保第53回学術集会会長から、第53回学術集会の準備状況について報告があった。

(4) その他

①大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

水間理事長から、熊本地震への対応はJRAT 東京本部の指示によって動いているが、今後も同様に対応していく旨の報告があった。また、久保第53回学術集会会長から、学術集会最終日の11日朝8時から、JRAT 担当の富岡正雄先生の熊本地震対策緊急報告会及び募金活動を行うこととした旨報告があった。

②日本専門医機構社員総会

水間理事長の代理で出席した白倉理事から、4月25日に開催された

日本専門医機構社員総会及び総会に先立って開催された意見交換会の報告があった。

③日本医療安全調査機構

水間理事長から、5月26日に開催された日本医療安全調査機構社員総会において分担金の値上げが決まり、本医学会は昨年度より300千円増の500千円となったが、減免新申請も可能であることから、今後減免申請を行う旨の報告があった。

II 重要審議事項

(1) 新専門医制度について

芳賀理事から、新専門医制度に関する現時点での検討状況等についてそれぞれ説明があり、審議が行われた。

①日本専門医機構役員選考委員及び理事候補者の推薦について

日本専門医機構の役員選考及び理事候補者の推薦にあたって、外科系社員学会の委員選出及び理事候補者選出の経過及び各候補者について説明があった。

②各領域専門研修プログラムについて

リハ科領域は74プログラム190名の定員で第1次審査を終えていつでも機構の二次審査を受けられる状況となっている。研修プログラムの無い県が、富山、福井、山梨、長崎の4県あるが、これらについては今後プログラムが整備できるよう対応していく旨の説明があり、了承された。

定員数については、190名で地域医療を担えるか問題であること、各県協議会ができているのであればそこでの調整を行って定員数を見直すべきとの意見が出され、各県協議会での調整に向けて研修プログラム統括責任者に状況を伝えていくこと、定員数についても地方の状況に柔軟に対応して定員枠を増やすなどの要望をしていくことが確認された。

研修プログラムの公表と募集開始時期については日本専門医機構が各領域の判断に委ねることとしたが、今後の対応については、新執行部及び芳賀理事、浅見理事に一任していくことが了承された。

III 審議事項

(1) 平成27年度地方会事務局運営費補助金収支決算及び平成28年度運営費補助金の配分について

安保副理事長から、平成27年度地方会事務局運営費補助金収支決算及び平成28年度配分予定額について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(2) 会費を2年以上滞納した者の取扱いについて

才藤副理事長から、会費を2年以上滞納した者の取扱いについて、代議

員総会に諮ったうえで事務局から督促を行い、9月理事会時点で未納のある者は代議員総会に遡って会員資格停止となる旨説明があり、了承された。

(3) 第54回春季学術集会の準備状況について

椿原第54回春季学術集会会長から、第54回春季学術集会の準備状況について説明があり、了承された。

(4) 設立50周年記念事業のまとめについて

水間理事長から、リハ医学会設立50周年記念事業が平成27年度をもって終了したこと、これまでの事業内容を取りまとめ実行委員会に諮った。この内容を代議員総会に報告し実行委員会を解散する旨説明があり、了承された。

(5) 賛助会員の退会について

才藤副理事長から旭化成ファーマ(株)からの賛助会員退会届が出ていることについて説明があり、了承された。なお、企業との関係は財政面でも重要であり、賛助会員となつていただくか寄附金をいただくか、企業の事情に応じて協力願うよう働きかけてほしいこと、今回の学術集会での企業展示が今後も継続されるように働きかけてほしい旨説明があり、了承された。

(6) 医師以外の正会員の入会について

上月理事から医師以外の正会員の入会について説明があり、審議の結果、近藤隆博先生、鈴木孝治先生、戸田香先生の入会が承認された。

(7) 会員の入退会について

才藤副理事長から入退会者の説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(8) 社会保険等委員会関係

石川理事から、今年度の回復期リハ病棟専従医師研修会、急性期リハ病棟リハ医師研修会のスケジュール及び収支予算並びに内保連、外保連担当者の案について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(9) 資格認定委員会

①指導医の新規認定について

浅見理事から指導医の新規認定について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

②指導医の資格更新について

浅見理事から指導医の資格更新について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

③専門医・認定臨床医の資格更新について

浅見理事から専門医・認定臨床医の資格更新について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(10) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

椿原理事から研修施設の新規認定について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

②研修施設の資格喪失について

椿原理事から研修施設の資格喪失について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(1 1) 2－f（初回）項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から1件の生涯教育単位の申請について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(1 2) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から後援・協賛について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

②会計監査人の交代について

水間理事長から、事務局職員の在籍出向に伴い、会計監査人を小見山満先生から出向者と利益関係のない栃木伸二郎先生に交代する旨説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

IV 報告事項

(1) 各種委員会報告

平成28年5月22日から平成28年5月23日に開催された以下の委員会について、担当理事から報告があった。

①資格認定委員会 浅見理事

②データマネジメント委員会 近藤理事

(2) 専門医会報告

大串専門医会幹事長から、第11回専門医会学術集会の準備状況及び各SIGの活動並びに関東地方会新専門医交流会について報告があった。

(6) RJN 報告

浅見理事から、学術集会期間中のRJN懇親会及びインタビュー企画並びに「達人の流儀第3集」の刊行について報告があった。

(7) 2－e、2－f（2回目）、2－g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から2-e、2-f（2回目）、2-g 項目による生涯教育研修単位の申請に対する審議結果について報告があった。

(8) その他

①ISPRM2016の参加報告について

才藤副理事長からマレーシアで開催されたISPRM2016への参加報告があった。

以上